

令和6年学力検査

全 日 制 課 程

第 2 時 限 問 題

数 学

検査時間 10時20分から11時05分まで

「解答始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

注 意

- (1) 解答用紙は、この問題用紙とは別になっています。
- (2) 「解答始め」という指示で、すぐこの表紙に受検番号を書きなさい。続いて、解答用紙に氏名と受検番号を書き、受検番号についてはマーク欄も塗りつぶしなさい。
- (3) 問題は(1)ページから(5)ページまであります。(5)ページの次は白紙になっています。受検番号を記入したあと、問題の各ページを確かめ、不備のある場合は手をあげて申し出なさい。
- (4) 余白や白紙のページは、計算などに使ってもよろしい。
- (5) 答えは全て解答用紙のマーク欄を塗りつぶしなさい。
- (6) 印刷の文字が不鮮明なときは、手をあげて質問してもよろしい。
- (7) 「解答やめ」という指示で、解答することをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして机の上に置きなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

【解答上の注意】

問題の文中の **[アイ]** などには、数字が入ります。ア、イ、… の一つ一つには、0から9までの数字のいずれか一つがあてはまるので、解答用紙のア、イ、… で示された数字のマーク欄を塗りつぶします。

(例) **[アイ]** に「15」と答えるとき

	ア	0 ● 2 3 4 5 6 7 8 9
	イ	0 1 2 3 4 ● 6 7 8 9

なお、このような場合、アの欄に「0」が入ることはありません。

(例) **[アイ]** に $\frac{14}{23}$ と答えるとき
[ウエ]

	ア	0 ● 2 3 4 5 6 7 8 9
	イ	0 1 2 3 ● 5 6 7 8 9
	ウ	0 1 ● 3 4 5 6 7 8 9
	エ	0 1 2 ● 4 5 6 7 8 9

数 学

1 次の(1)から(10)までの問い合わせに答えなさい。

(1) $4 \times (-3) - (-6) \div 3$ を計算した結果として正しいものを、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。

ア -14

イ -10

ウ -2

エ 4

(2) $\frac{-2x+1}{4} - \frac{x-3}{3}$ を計算した結果として正しいものを、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。

ア $-10x+15$

イ $\frac{-10x-9}{12}$

ウ $\frac{-10x+15}{12}$

エ $\frac{-5x+5}{2}$

(3) $(6a^2b - 12ab^2) \div \frac{2}{3}ab$ を計算した結果として正しいものを、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。

ア $-9ab$

イ $4a - 8b$

ウ $9a - 2b$

エ $9a - 18b$

(4) $x = \sqrt{3} + \sqrt{2}$, $y = \sqrt{3} - \sqrt{2}$ のとき、 $x^2 + xy - y^2$ の値として正しいものを、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。

ア 1

イ 11

ウ $4\sqrt{6} + 1$

エ $4\sqrt{6} + 11$

(5) 方程式 $(x+3)^2 - 11 = 5(x+2)$ の解として正しいものを、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。

ア $x = -4, -3$

イ $x = -4, 3$

ウ $x = -3, 4$

エ $x = 3, 4$

(6) 1個 a g のトマト 3 個、1本 b g のきゅうり 2 本をあわせた重さが 900 g より軽いという関係を表している不等式を、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。

ア $3a + 2b \leq 900$

イ $3a + 2b < 900$

ウ $3a + 2b \geq 900$

エ $3a + 2b > 900$

(7) y が x に反比例し、 $x = 4$ のとき $y = 3$ である関数のグラフ上の点で、 x 座標と y 座標がともに整数であり、 x 座標が y 座標よりも小さい点は何個あるか、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。

ア 1 個

イ 2 個

ウ 3 個

エ 6 個

(8) 平方根について正しく述べたものを、次のアからカまでの中から二つ選びなさい。

ただし、マーク欄は1行につき一つだけ塗りつぶすこと。

ア 64 の平方根は ± 8 である。

イ $\sqrt{16}$ は ± 4 である。

ウ $\sqrt{(-6)^2}$ は -6 である。

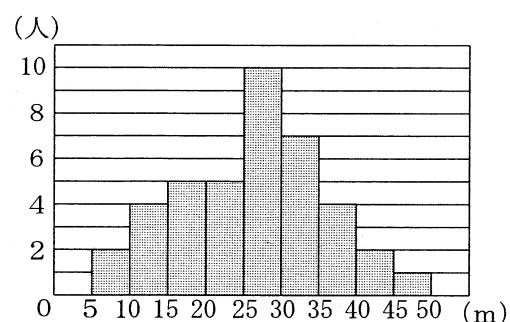
エ $\sqrt{16} - \sqrt{9}$ は $\sqrt{7}$ である。

オ $\sqrt{3} \times 5$ は $\sqrt{15}$ である。

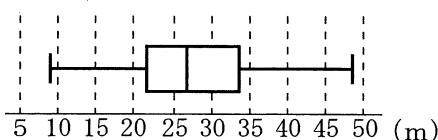
カ $\sqrt{21} \div \sqrt{7}$ は $\sqrt{3}$ である。

(9) 図は、小学校6年生40人のソフトボール投げの記録を整理し、ヒストグラムで表したものである。

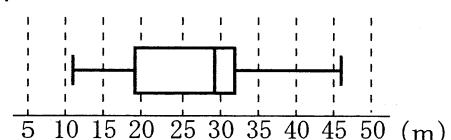
この記録を箱ひげ図で表したとき、最も適当な図を、次のアからエまでの中から選びなさい。



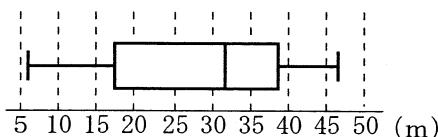
ア



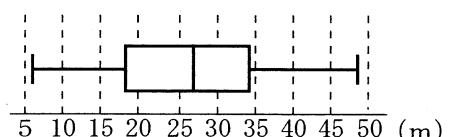
イ



ウ

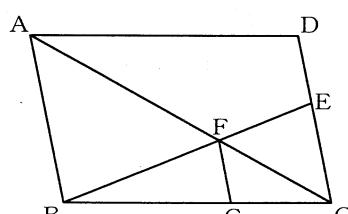


エ



(10) 図で、四角形ABCDは平行四辺形、Eは辺DC上の点で $DE : EC = 2 : 3$ である。また、Fは線分ACとEBとの交点、Gは辺BC上の点で、 $AB // FG$ である。

$AB = 10\text{ cm}$ のとき、線分FGの長さは何cmか、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。



ア 3 cm

イ $\frac{18}{5}\text{ cm}$

ウ $\frac{15}{4}\text{ cm}$

エ 4 cm

2 次の(1)から(3)までの問い合わせに答えなさい。

(1) 数字2、3、4、5、6、7を書いたカードが1枚ずつある。この6枚のカードをよくきつて、1枚ずつ2回続けて取り出す。1回目に取り出したカードに書かれている数を a とし、2回目に取り出したカードに書かれている数を b とする。

このとき、次の①から⑤までのことがらのうち、起こる確率が等しいことがらの組み合わせとして正しいものを、下のアからコまでの中から一つ選びなさい。

① $a + b$ が偶数

② $a - b$ が正の数

③ ab が奇数

④ a が b の約数

⑤ a と b がともに素数

ア ①、②

イ ①、③

ウ ①、④

エ ①、⑤

オ ②、③

カ ②、④

キ ②、⑤

ク ③、④

ケ ③、⑤

コ ④、⑤

(2) 図で、Oは原点、A、Bは関数 $y = ax^2$ (a は定数、 $a > 0$) のグラフ上の点で、 x 座標はそれぞれ2、-3である。

また、Cは y 軸上の点で、 y 座標は $\frac{21}{2}$ であり、Dは線分BAと y 軸との交点である。

$\triangle C B D$ の面積が $\triangle D O A$ の面積の2倍であるとき、 a の値として正しいものを、次のアからオまでの中から一つ選びなさい。

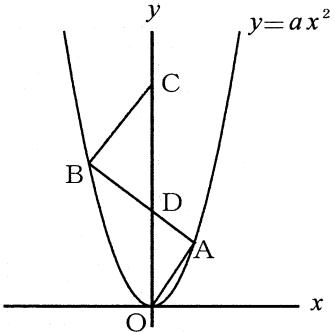
ア $a = \frac{7}{12}$

イ $a = \frac{7}{10}$

ウ $a = \frac{3}{4}$

エ $a = \frac{7}{9}$

オ $a = \frac{7}{8}$



(3) A 地点から B 地点までは直線の道で結ばれており、その距離は 600 m である。

弟は、A 地点を出発し、A 地点と B 地点の間を毎分 120 m の速さで 2 往復走った。兄は、弟が A 地点を出発した 1 分後に A 地点を出発し、A 地点と B 地点の間を一定の速さで 3 往復走ったところ、弟が走り終える 1 分前に走り終えた。

このとき、次の①、②の問い合わせに答えなさい。

なお、下の図を必要に応じて使ってもよい。

① 弟が A 地点を出発してから x 分後の、A 地点と弟の間の距離を y m とするとき、 $x = 6$ のときの y の値として正しいものを、次のアからカまでの中から一つ選びなさい。

ア $y = 0$

イ $y = 120$

ウ $y = 240$

エ $y = 360$

オ $y = 480$

カ $y = 600$

② 兄が A 地点を出発してから走り終えるまでに、兄と弟がすれ違うのは何回か、次のアからカまでの中から一つ選びなさい。

ただし、兄が弟を追い抜く場合は含めないものとする。

ア 3 回

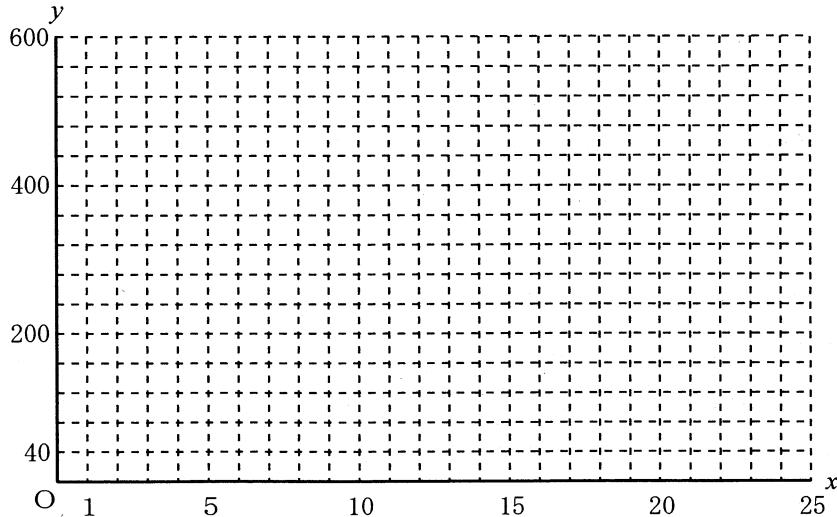
イ 4 回

ウ 5 回

エ 6 回

オ 7 回

カ 8 回



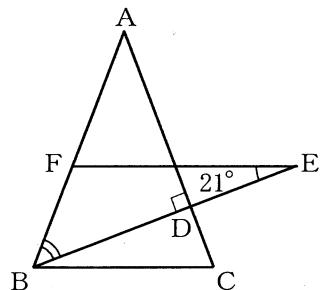
3 次の(1)から(3)までの文章中の **アイ** などに入る数字をそれぞれ答えなさい。

解答方法については、表紙の裏にある **【解答上の注意】** に従うこと。

ただし、分数は、それ以上約分できない形で、また、根号の中は、最も簡単な数で答えること。

(1) 図で、 $\triangle ABC$ は $AB = AC$ の二等辺三角形、D は辺 AC 上の点で、 $AC \perp DB$ である。また、E は直線 DB 上の点、F は点 E を通り、直線 BC に平行な直線と辺 AB の交点である。

$\angle FEB = 21^\circ$ のとき、 $\angle ABD$ の大きさは **アイ** 度である。

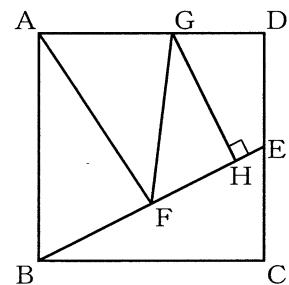


(2) 図で、四角形 $ABCD$ は正方形、E は辺 DC の中点、F は線分 EB の中点、G は辺 AD 上の点で、 $\angle GAF = \angle GFE$ である。また、H は線分 EB 上の点で、 $\angle GHE = 90^\circ$ である。

$AB = 4\text{ cm}$ のとき、

① 線分 EF の長さは $\sqrt{\boxed{ア}}$ cm である。

② 線分 HF の長さは線分 EB の長さの $\frac{\boxed{イ}}{\boxed{ウ}}$ 倍である。

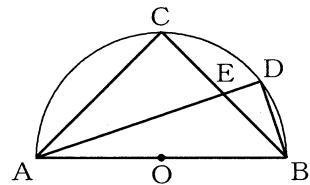


(3) 図で、C は AB を直径とする半円 O の周上の点で、 $CA = CB$ であり、D は弧 CB 上の点で、 $DA : DB = 3 : 1$ である。また、E は線分 CB と DA の交点である。

$CA = 6\text{ cm}$ のとき、

① $\triangle DAB$ の面積は $\frac{\boxed{アイ}}{\boxed{ウ}}$ cm^2 である。

② $\triangle EAB$ を、線分 AB を回転の軸として 1 回転させてできる立体の体積は $\boxed{エ} \sqrt{\boxed{オ}} \pi \text{ cm}^3$ である。



ただし、 π は円周率である。

(問題はこれで終わりです。)